



## 2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月11日  
東

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所  
 コード番号 3134 URL http://hamee.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 敦士  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 富山 幸弘 (TEL) 0465-42-9083  
 四半期報告書提出予定日 2019年9月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年4月期第1四半期の連結業績 (2019年5月1日～2019年7月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	2,557	14.5	384	63.9	399	66.7	291	66.7
2019年4月期第1四半期	2,234	8.6	234	△6.4	239	1.0	174	0.6

(注) 包括利益 2020年4月期第1四半期 222百万円( 39.2%) 2019年4月期第1四半期 160百万円( △1.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	18.41	18.26
2019年4月期第1四半期	10.90	10.74

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第1四半期	5,383	4,235	76.1
2019年4月期	5,760	4,188	70.3

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 4,097百万円 2019年4月期 4,047百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	0.00	—	6.50	6.50
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	0.00	—	6.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年4月期の連結業績予想 (2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,949	6.3	1,092	△6.1	1,082	△8.2	801	△2.4	50.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年4月期1Q	16,095,600株	2019年4月期	16,087,600株
② 期末自己株式数	2020年4月期1Q	250,502株	2019年4月期	159,875株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年4月期1Q	15,846,656株	2019年4月期1Q	16,053,314株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(必要な後発事象) .....	9
3. その他 .....	10
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策により企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調にて推移いたしました。米中の貿易摩擦をめぐる緊張感の高まりや欧州の政治情勢、ならびに近隣諸国における地政学的リスクなどの影響もあり、国内景気は依然不透明感が拭えない状況にあります。

このような経営環境のもと当社グループは、モバイル(スマートフォン及び携帯電話)アクセサリーの販売について、2019年2月にリリースし、前期第4四半期において国内コマース事業の業績を牽引した「iFace」シリーズのニューモデル「iFace Reflection」が引き続き堅調に推移したほか、GALAXY S10/S10+用「iFace First Class」のリリース、iFace落下防止リング新作のリリースなど、同ブランドの商材拡充に積極的に注力しました。

自社開発のEC自動化プラットフォーム「ネクストエンジン」については、引き続き販売代理店との関係強化や新たなショッピングモールとの連携強化に取り組み、プラットフォームとしての付加価値向上に努めました。また、前期より取り組んできたコールセンター業務のアウトソーシングも順調に進んでおり、当該外注コスト負担も増加しておりますが、当初計画どおり本年10月までにアウトソーシングを完了させることで11月以降の契約社数の伸びを加速させ、収益力の向上を実現してまいります。

なお、当社グループでは中長期的な企業価値向上のための経営施策の一環として、成長のための投資を戦略的に実施しております。最近の事例として、コマース事業においては国内外でのモバイルアクセサリーブランドの取得、プラットフォーム事業においてはEC販売支援コンサル企業の取得(M&A)やネクストエンジンの機能強化を実現するための開発投資、その他セグメントにおいてはIoTサービスに対する研究開発等、従前よりも一歩踏み込んだ成長投資を積極化しております。これに伴い、ソフトウェア償却費の増加、のれん償却費の増加、研究開発費の増加等が顕在化し、特に前期において各段階利益の伸びが抑制される結果となりましたが、中長期的な企業価値向上に資する重要な取り組みであると判断しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,557,816千円(前年同四半期比14.5%増)、営業利益は384,511千円(同63.9%増)、経常利益は399,693千円(同66.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は291,687千円(同66.7%増)となりました。

参考指標として、成長投資を加味した収益力の指標であるEBITDAによる前年同期対比を以下に記載いたします。

(単位：千円)

	第21期 第1四半期 連結累計期間	第22期 第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
税金等調整前四半期純利益	239,737	400,910	161,173	67.2%
支払利息	386	633	246	63.8%
減価償却費	65,850	89,728	23,878	36.3%
EBITDA	305,974	491,272	185,298	60.6%
研究開発費	27,781	37,281	9,500	34.2%

なお、iPhone等スマートフォンの新機種発表時期や年末のクリスマス需要などの影響により、第3四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間に比べて最も大きく、第2四半期と第4四半期連結会計期間は同水準、第1四半期連結会計期間が最も小さくなる傾向にあります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

## ① コマース事業

「iFace Reflection」シリーズに加え、定番である「iFace First Class」シリーズ及び「iFace Finger Ring Holder」も国内小売、卸販売共に底堅く推移しました。また、様々な人気キャラクターを活用した新商品を随時投入したことに加え、季節商材である防水ケース・防水グッズブランドの「DIVAID(ディバイド)」も長引く梅雨の中、想定以上に健闘いたしました。

海外においては、韓国連結子会社が事業譲受により取得したモバイルアクセサリーブランド「PATCHWORKS」が、韓国国内及び海外輸出の双方で好調に推移しました。米国においては、前期から引き続いて雑貨の販売が好調に推移した小売が前年同期の実績を上回った一方で、前期大型受注を獲得した卸販売は、その反動で減収となりました。

海外に比べ利益率の高い国内販売が大幅に伸長したことで事業全体の利益の伸びが牽引され、コマース事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は2,074,602千円(前年同四半期比14.6%増)、セグメント利益(営業利益)は501,373千円(同42.5%増)となりました。

## ② プラットフォーム事業

前期に引き続き、サービスレベルの維持向上と自社リソースの有効活用を図る目的で、コールセンター業務の移管手続きを進めているため、契約獲得ペースが一時的に鈍化しているものの、ネクストエンジンの契約を獲得する上で重要となる初期設定の円滑化を実現するため従前より進めてきたネクストエンジンの機能強化、サポート体制の強化など、各種施策の効果が発現したことにより、期初計画を着実にクリアすることができました。これにより、総契約数は3,718社(前連結会計年度末比96社増)、利用店舗数28,814店(同808店増、いずれも自社調べ)となりました。

また、EC事業者向け販売支援コンサルティングを提供するHameeコンサルティング株式会社について、来期以降の大幅な成長を企図して実施している人材投資(コンサルタントの採用)も、当初計画のとおり推移しております。これらの結果、プラットフォーム事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は450,786千円(前年同四半期比7.5%増)、セグメント利益(営業利益)は、採用費用等のコストが先行しているHameeコンサルティングの影響もあり、127,303千円(同4.4%減)となりました。

## ③ その他

コマース事業、プラットフォーム事業のいずれにも明確に分類できない新たなサービスに係るものであり、ふるさと納税支援サービスやネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス、1月にリリースしたIoTサービス、スマートフォンを持たないお子様のための音声メッセージロボット「Hamic BEAR」等が含まれます。なお「Hamic BEAR」につきましては、コミュニケーションにおける工夫、手法等が評価された事により、「第13回キッズデザイン賞」(主催:特定非営利活動法人キッズデザイン協議会)を受賞しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は32,427千円(前年同四半期比645.6%増)、セグメント損益(営業損益)は先行投資フェーズであるため△37,743千円(前年同四半期は40,445千円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ377,704千円減少し、5,383,095千円となりました。これは主に、短期借入金の返済等により現金及び預金が409,655千円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ424,596千円減少し、1,147,632千円となりました。これは主に、短期借入金が返済により300,000千円、買掛金52,149千円が減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ46,892千円増加し、4,235,462千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益291,687千円の計上、剰余金の配当103,530千円、自己株式の取得70,145千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年7月3日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,660,313	1,250,657
受取手形及び売掛金	1,283,232	1,195,734
商品	1,032,246	1,069,646
貯蔵品	191	150
その他	419,149	508,450
貸倒引当金	△21,460	△20,272
流動資産合計	4,373,671	4,004,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	196,036	193,946
減価償却累計額	△31,854	△33,788
建物及び構築物(純額)	164,182	160,158
工具、器具及び備品	335,619	338,142
減価償却累計額	△225,210	△224,192
工具、器具及び備品(純額)	110,409	113,950
建設仮勘定	2,058	516
有形固定資産合計	276,651	274,624
無形固定資産		
のれん	358,755	331,797
ソフトウェア	246,232	240,469
商標権	16,372	29,446
技術資産	7,758	6,832
顧客関連資産	86,936	78,887
その他	28	28
無形固定資産合計	716,085	687,462
投資その他の資産		
投資有価証券	177	177
関係会社株式	30,119	30,581
保険積立金	36,114	—
繰延税金資産	219,847	226,298
その他	108,130	159,582
投資その他の資産合計	394,390	416,641
固定資産合計	1,387,127	1,378,728
資産合計	5,760,799	5,383,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	207,738	155,588
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	60,506	50,442
未払金	334,664	341,469
未払費用	172,300	150,328
未払法人税等	187,296	194,563
賞与引当金	77,265	36,927
返品調整引当金	6,807	5,203
ポイント引当金	841	918
その他	34,415	30,993
流動負債合計	1,381,834	966,434
固定負債		
長期借入金	139,925	127,916
退職給付に係る負債	7,042	11,900
その他	43,427	41,381
固定負債合計	190,394	181,198
負債合計	1,572,229	1,147,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	535,803	535,958
資本剰余金	455,803	455,958
利益剰余金	3,202,658	3,390,816
自己株式	△126,046	△196,192
株主資本合計	4,068,219	4,186,541
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△20,544	△89,458
その他の包括利益累計額合計	△20,544	△89,458
新株予約権	140,896	138,380
純資産合計	4,188,570	4,235,462
負債純資産合計	5,760,799	5,383,095

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)
売上高	2,234,794	2,557,816
売上原価	1,122,139	1,152,921
売上総利益	1,112,655	1,404,894
返品調整引当金戻入額	3,615	6,807
返品調整引当金繰入額	2,435	5,203
差引売上総利益	1,113,835	1,406,498
販売費及び一般管理費	879,189	1,021,986
営業利益	234,645	384,511
営業外収益		
受取利息	150	85
保険返戻金	—	19,351
持分法による投資利益	—	6,280
為替差益	11,317	—
その他	1,880	2,215
営業外収益合計	13,347	27,933
営業外費用		
支払利息	386	633
支払保証料	1,904	1,629
持分法による投資損失	4,759	—
為替差損	—	5,391
その他	1,205	5,097
営業外費用合計	8,256	12,751
経常利益	239,737	399,693
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,516
特別利益合計	—	2,516
特別損失		
固定資産除却損	—	1,298
特別損失合計	—	1,298
税金等調整前四半期純利益	239,737	400,910
法人税、住民税及び事業税	56,378	108,423
法人税等調整額	8,379	799
法人税等合計	64,758	109,223
四半期純利益	174,979	291,687
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,979	291,687



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)
四半期純利益	174,979	291,687
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△14,939	△68,913
その他の包括利益合計	△14,939	△68,913
四半期包括利益	160,039	222,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,039	222,773
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年7月26日 定時株主総会	普通株式	88,293	5.50	2018年4月30日	2018年7月27日	利益剰余金

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年7月25日 定時株主総会	普通株式	103,530	6.50	2019年4月30日	2019年7月26日	利益剰余金

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,811,054	419,390	2,230,445	4,349	2,234,794	—	2,234,794
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,811,054	419,390	2,230,445	4,349	2,234,794	—	2,234,794
セグメント利益又は損失(△)	351,888	133,130	485,018	△40,445	444,573	△209,927	234,645

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△209,927千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,074,602	450,786	2,525,389	32,427	2,557,816	—	2,557,816
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,074,602	450,786	2,525,389	32,427	2,557,816	—	2,557,816
セグメント利益又は損失(△)	501,373	127,303	628,676	△37,743	590,933	△206,422	384,511

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△206,422千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。